

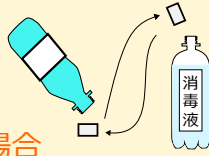
感染を広げないために

身近な人が発症してしまった時は、周りの人に感染が拡大しないよう身の回りの消毒やおう吐物の処理をしましょう。

消毒液の作り方

市販の塩素系漂白剤を薄めましょう。

市販品の塩素濃度 6%、1.5 Lの水に加えて作成する場合



使用目的	身の回りの消毒 (0.02%)	汚染されたものの廃棄 (0.1%)
原液の量	5 ml (ペットボトルのキャップ 1 杯)	25 ml (ペットボトルのキャップ 5 杯)

※ 製品によって濃度が違います。(原液の量)ml=(水の量)ml×(使用目的濃度)%÷(原液の濃度)%

注意点

- ・「使用上の注意」をよく読んでから使用してください。
- ・直接触れないように、手袋を着用して作製してください。
- ・漂白作用があります。色落ちが気になる布製品には使用しないでください。
- ・希釈液は時間とともに消毒効果が減少します。使用ごとに作製してください。
- ・誤って飲まないように、一時保管する場合は「消毒液」と明記してください。

消毒が必要な場所と方法

調理の際に使用するものや多くの人に触れる場所を中心に、以下の方法で消毒しましょう。

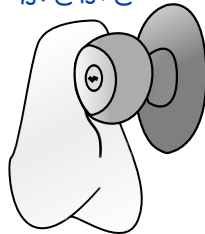
調理器具、食器、おもちゃ など

よく洗浄した後、0.02%消毒液に10分つけてから水洗いします。

ドアノブ、蛇口、トイレ回り など

0.02%消毒液をよく染み込ませたタオルでよく拭き、10分後に水拭きします。

ふきふき



おう吐物に汚染された布団、上着、タオル など

おう吐物をふき取り、0.02%消毒液に30分つけた後に洗濯します。布団など、すぐに洗濯できない場合はスチームアイロンを2分間以上あてましょう。

おう吐物の処理手順

着るもの

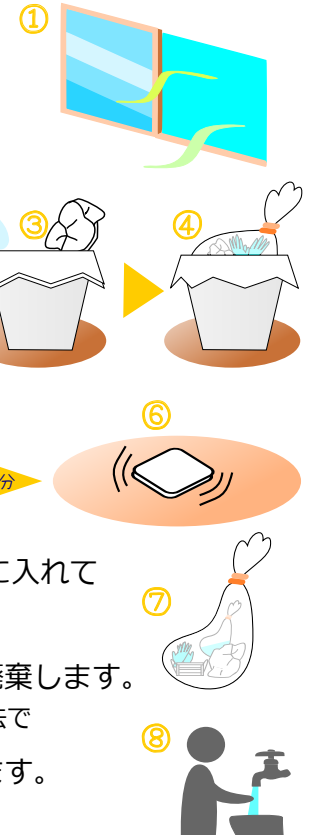
- ・ビニール手袋 (2セット)
- ・マスク
- ・汚れてもいい上着

使うもの

- ・ゴミ袋とゴミ箱
- ・消毒液 (0.1%と0.02%)
- ・キッチンペーパー(タオルでも可)

①～⑦の手順に従い、速やかに処理しましょう。

- ① 換気のため、窓を開けて換気扇を回します。
- ② ゴミ箱にゴミ袋を二重にして取り付けて0.1%消毒液を入れます。
- ③ おう吐物をキッチンペーパーで静かにふき取り、ゴミ袋に入れます。
- ④ 新しい手袋に交換して、内側のゴミ袋を密閉します。
- ⑤ 汚染した場所とその周囲をキッチンペーパーで覆い、0.02%消毒液をかけます。
- ⑥ 10分後、覆っていたキッチンペーパーをゴミ袋に入れて消毒液をかけた場所を水拭きします。
- ⑦ 手袋とマスクを外してゴミ袋に入れ、密閉して廃棄します。
※ 汚染された衣類などを消毒する場合は左のページの方法で
- ⑧ 処理が終わったら、丁寧に手洗いとうがいをします。
可能であればシャワーも浴びましょう。



お風呂とトイレ

発症者は、お風呂は控えてシャワーのみにしましょう。湯船に入りたい場合は、入浴する順番を最後にしましょう。洋式トイレは、フタをしてから流すとノロウイルスの飛散が防げます。普段から「フタして流す」を習慣にしましょう。

